

なかよし塩川

第5号

文責：教頭(伊藤)

消防署・スーパーマーケットへ社会見学に

9月9日(火)に、3年生は丸子消防署とスーパーマーケットへ社会見学に出かけてきました。学習の目的は、今後の学習に生きるように「くらしを守る人」と「お店ではたらく人」の様子を直接、見聞きしてことです。

まず、訪れた消防署では、施設を見学し、消防車や救急車についてどんな道具が載っていて、どんな仕事をしているのか詳しく教えていただきました。特別に消防服も着させていただき、体験を通して重さや動きづらさを実感していました。



スーパーマーケットでは、また、お店のバックヤードを見学させていただき、魚をさばく所など日頃なかなか見ることのできない所を子どもたちは目を輝かせながら見入っていました。「値札」を作成する部屋では、その場で作成してくださった値札カードをいただき笑顔があふれる姿もありました。また、マイナス20℃の冷凍庫体験では経験のない温度に驚いていました。子どもたちは熱心に産地調べをしたり、自分が気づいたことをメモしたりしていました。最後に店長さんから、「どんな品物が一番売れるのか」「商品は工夫して置くか」などについて、クイズを交えながら教えていただきました。よく見て、よく聞いて、マナーやあいさつもよくできた充実の見学になりました。



梔子ヴィンヤードの自然学習とクララの苗木植栽体験

農研機構西日本農業研究センターの楠本良延先生においでいただき、4年生が、梔子ヴィンヤードの環境学習を行い、塩川小の中庭にクララの苗木の植栽を行いました。

環境学習では楠本先生から、梔子ヴィンヤード周辺の草原は、生物が生きるための環境が整っていることを学びました。そして、蝶の希少種であるオオルリシジミが梔子ヴィンヤード周辺へ飛来し繁殖するため



に、クララというオオルリシジミのエサになる植物が必要であり、その重要な活動に塩川小学校の児童がここ数年かけてクララを植樹していることを改めてお聞きしました。

説明会の後、先生が用意してくださったクララの苗を中庭の畑に植えました。クララは30センチほどまでに育つ来春に掘り出してヴィンヤードのブドウ畑周辺に5年生に進級した子どもたちが移植します。子どもたちは地域の恵まれた環境を再認識し、オオルリシジミに飛来してほしいと願いながら、丁寧にクララを植える姿がありました。



家族参観日へのご来校、ありがとうございました。

9月13日の土曜日に、家族参観日が行われました。多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。各学年の2時間目と3時間目を見ていただきました。各クラスで国語や算数、図工や体育など様々な教科を参観していただきました。担任の授業だけでなく専科教員の授業を見ていただいたクラスもありました。家族参観ということで、お父さん

やお母さんのみならず祖父母のみなさんにも参観いただき、教室に入りきれないくらいに混み合っている教室もありました。

子どもたちもおうちの方に見守っていただいて、いつも以上に張り切っている様子が見られました。



学校保健委員会 ― 朝食をとることの大切さについて ―

9月22日には、4・5・6年生が参加しての学校保健委員会が行われました。はじめに、事前に子どもたちにアンケートで回答してもらっていた就寝時刻や起床時刻、椅子ワイナリーでは、草原を守るため適時草刈りをしているそうです。このほど良い草刈りが草原を育てることにつながるという話を聞き、子どもたちは草原に生え

る植物にぐっと興味をもったようです。、学校がある日に朝食をどれだけ

とっているかななどの結果が示されました。続いて、講師である丸子給食センターの中村先生から、朝食をとることの大切さについてのお話をいただきました。その後、手軽に栄養を摂取することができる「味噌玉による味噌汁」を実際に味噌玉から作って食べてみる体験を行ってくださいました。各学年、代表児童が、用意された具材から材料を選び、味噌玉を作り、それをお湯でとかして食べてみる体験に取り組みました。



F Aタイム実施に関わってのお願い

今年度から塩川小学校では、11月25日の6校時より「F Aタイム」を行っていきます。この活動は3・4・5・6年生を対象に計画をしています。クラブ活動が終了した時期から年度末に向けて火曜日の6校時8時間分を使って、子どもたち一人ひとりが「やってみたい!」「確かめてみたい!」「うまくなりたい!」ことからテーマを決め、その願いを実現するために、探究していく時間にしたいと思っています。

上記のように「F Aタイム」は一人ひとりが願いに沿って活動するため、用意する材料や道具が異なります。学校で貸し出せるもの以外の材料や道具はご家庭で準備いただくことになります。子どもたちから保護者の皆様に持ち物の相談がありましたら、ご対応いただけますと幸いです。「F Aタイム」の時間が、自分の好きなことに、とことん向き合う機会となり、子どもたちの「探究する力」を養う一つの大きな機会となればと願っておりますので、ご協力の程よろしくお願いします。